

「一人一人の幸せに向かって 自ら考え 夢中を育み 共に伸びる 入間野小学校」
～ にこにこ（笑顔）わくわく（夢中）ぐんぐん（共に伸びる）～

狭山市立入間野小学校

学校だより

令和8年6月号

☎04-2958-2718



いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子

～ にこにこ笑顔 わくわく夢中 ぐんぐん伸びる いるまのっ子 ～
「どうして勉強するのかな？ 学ぶ喜びを感じられる学習を」

校長 ^{さかき ひろこ} 坂木 裕子

日に日に、強い日差しに高い気温の日が続くようになり、夏の到来を感じます。紫陽花の花も開きはじめ、梅雨もすぐそこです。体調管理については、十分な注意が必要な季節になってきました。

そんな暑さの中でも、入間野小学校の子供たちは元気いっぱい活動しています。5月は3年生の遠足や6年生の社会科見学が実施されました。3年生は、自然の空気を満喫しながら自分の力で日和田山へ登り、学校に到着したときの「ただいま!」という顔は充実感にあふれていました。6年生は、社会科で学習した国会の仕組みについて、他校の児童と共に「国会体験プログラム」という模擬委員会に参加し、法律ができる過程をロールプレイ形式で体験しました。どちらの学年も、教室だけでは得られない「学び」を実感できた1日になりました。

学校は、いろいろな場面を通して子供が学ぶ喜びを感じられる場所でなければならないと思っています。でも、子供にとっては、「なんで勉強しないといけないの?」と感ずることもあるように思います。皆さんは、この質問にどのように答えるでしょうか。以前、たまたま目にしたインターネットの情報にこんな答えが載っていました。とても共感できる答えだったので、一部を抜粋して紹介します。

『何で勉強なんかしないといけないの? …一杯の水の入ったコップを見て…』

【算数】を学べば、この中に200mlの水があると数字で見えるようになり、【理科】を学べば、この水は水素と酸素からできていると知れる。【社会】を学べば、この水がどこから来たのかが分かり、世界にはきれいな水が飲めない人たちがいることが知れる。【美術】を学べば、この水の反射をきれいに描くことができるようになるし、【音楽】を学べば同じコップでも水の量で音を変えられることに気づける。【技術】を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないのかが分かり、人の創造のすごさを知ることができる。【保健体育】を学べば、この水が体にどれだけ大切なのか健康を支える命の正体が見えてくる。【道徳】を学べば、この水を誰かと分け合うことの大切さを学べて思いやりの心が育つ。【国語】を学べば、今私が話した全部の意味を正しく理解できるようになる。【英語】を学べばこの話を世界中の人と分かち合えるようになる。【哲学】を学べばこの話に何の意味があるのかを考えられるようになる。…でも、もし何も学ばなかったら、このコップの中にあるのはただの水で終わる…』

私たちはなぜ勉強するのか。学んだことを基にして、世の中をいろいろな角度から見られる力を身につければ、きっと人生は豊かになるはずです。分かる喜び、知る喜びを通して、学ぶ喜びを感じられれば、一人一人が幸せに向かえると信じて。今度、子供たちに分かるように伝えたいと思っています。

(出典元:インスタグラム『余命半年の教師の母が息子に言った「深すぎる」勉強の本当の意味より』)